

(記 載 例)

~~麻薬小売業者~~
~~麻薬管理者~~
~~麻薬研究者~~

業 務 届 (平成 26 年)

平成 26 年 10 月〇〇日

静岡県知事 川勝平太 様

麻薬業務所の所在地 藤枝市〇〇町 99-66
麻薬業務所の名称 〇〇病院
免許証の番号 第 144〇〇〇〇 号
住 所 静岡市〇区△△町 11-1
氏 名 静岡一郎 ㊟

麻薬及び向精神薬取締法第 48 条の規定により、次のとおり届け出ます。

品 名	前年の10月1日 (期首)の所有 (管理)の数量	前年の10月1日から本年の 9月30日までの受払い数量		本年の9月30 日 (期末)の所有 (管理)の数量	備 考
		受け入れ数 量	払い出し数 量		
アヘンチンキ	20ml	0	20ml	0	〇月〇日付麻薬廃棄届 により廃棄 ※1
塩酸コカイン末	1 g	5 g	0.6 g	5.4 g	
2%塩酸コカイン 液 ※2	0	30ml	15ml	15ml	
塩酸モルヒネ 注射液 10mg	15A	30A	5A	40A	1 A 事故届 (破損) ※3
MS コンチン錠 10mg	30T	200T(24T) ※4	250T	4T	2 4 錠再利用 ※5 1 0 錠廃棄
リン酸コデイン 末	8g	0	2g	6g	
リン酸コデイン 散 10% ※2	0	20g	10.4g	9.6g	
以下余白					

注 1 品名はアイウエオ順に記載のこと。

2 同じ品名のもので含有量が異なれば、別品目として記載すること。

3 予製剤については原末に換算しないで、それぞれ別品目として記載すること。

4 届出書は3部作成し2部を業務所所在地を管轄する保健所に提出すること。

※1 「麻薬廃棄届」により廃棄した麻薬の記載例

※2 自家予製剤の記載例 (別品目として、欄を改めて記入する。)

※3 誤ってアンプルを破損させてしまった場合の記載例

※4 外来又は入院患者等から譲り受けた場合の記載例

※5 入院患者から譲り受けた麻薬を再利用した場合及び患者等から譲り受けた麻薬を
廃棄した場合の記載例